

2026 年 6 月 近鉄百貨店 売上速報

店舗別売上高対前年増減率(%)

	6 月	
	売上高 ※ 1	(参考) 取扱高 ベース売上高 ※ 2
あべのハルカス近鉄本店 (あべのハルカス近鉄本店 Hoop 等を含む)	9.0 (△6.7)	7.7
上本町店	△1.1	△1.5
東大阪店	△0.5	△2.5
奈良店	△4.2	△4.9
橿原店	△5.1	△2.8
生駒店	△1.1	△3.7
和歌山店	0.3	0.5
草津店	1.8	3.2
四日市店	△9.1	△8.7
合計	△6.7	△6.9
合計(既存店計)※ 3	△5.0	△4.6

(注) 数値は速報値のため、確定値とは誤差が生じることがあります。また、消化仕入取引を総額に置き換える等調整をおこなっております。

※ 1 百貨店部分の売上高と専門店部分の賃貸収入を合計した売上高。

※ 2 百貨店部分の売上高と専門店部分の取扱高を合計した売上高。

※ 3 2026 年 2 月 28 日に営業を終了した「名古屋店」の前年実績を控除した売上高。

【あべのハルカス近鉄本店の 6 月概況】

6 月は、下旬に台風による荒天がみられたものの、地方創生プロジェクト「ハルカス・ニッポン博覧会」山形編、沖縄編の開催や 9 階催会場場で初企画となる桃スイーツを集めた「MOMOフェス」の盛況が集客に寄与し、入店客数は前年実績を上回りました。売上高についても、国内売上、インバウンド売上ともに好調に推移し、4 か月連続で全部門において前年実績を上回りました。

商品別では、4 月に改装した惣菜売場が引き続き好調で、売上高は対前年 2 ケタ増と伸長しました。また、婦人服において機能性素材を使用した夏物衣料が人気を集めたほか、化粧品でも季節の変化における需要を捉えた基礎化粧品を中心に堅調に推移しました。